

並木恒延 五十嵐誠 新井達矢 3人展 関連講演会

「工芸の魅力—漆芸・木工芸・能面を中心に—」

国内外の美術館や大学などで展覧会監修、図録執筆を行い、
毎日新聞「KOGEI!」(奇数月第2月曜朝刊)でも連載を持つ、
工芸評論家 外館和子さんによる関連講演会

工芸の歴史、文化的な意義などを紹介するとともに、
3人の作品について、技術的な完成度や独創性など、評論家による解説をお聞きします。



日時：8月17日（日）午後3時から

会場：プリモホールゆとりぎ 講座室1

対象：どなたでも 受講料：無料

定員：50人 直接会場へお越しください！

※会場の都合により、事前申込をされた方を優先受付させていただきます。



詳細・事前申込はこちら

工芸とは何か、工芸表現の特徴や魅力について、
この度の展覧会出品作家である並木恒延氏の漆芸、
五十嵐誠氏の木工芸、新井達矢氏の能面を中心に
お話しします。



講師：外館 和子 氏
(多摩美術大学教授)

外館和子 TODATE Kazuko 略歴

1964年東京生まれ。多摩美術大学教授、工芸評論家、工芸史家、日本伝統文化検定協会副会長。

Kosho Ito Virus (英Tate St. Ives, 2002)、WAZA (独フランクフルト工芸美術館、2011)、Touch Fire (米スミスカレッジ美術館、2009) Clay as Soft Power (米ミシガン大学美術館、2022) など、海外での展覧会図録執筆・講演多数。

主な著書に『Fired Earth, Woven Bamboo: Contemporary Japanese Ceramics and Bamboo Art』(MFA, Boston, 2013)、『日本近現代陶芸史』(阿部出版、2016)、『現代陶芸論』(阿部出版、2023) など。『毎日新聞』「KOGEI!」隔月連載中。第10回国際陶磁器展美濃・韓国・世界陶磁ビエンナーレ2017 (及び2019)、金沢・世界工芸トリエンナーレ2019、韓国・清洲工芸ビエンナーレ2021、日展、日本伝統工芸展、伊丹国際クラフト展、三井ゴールデン匠賞など、国内外で審査員を勤める。

特に漆に関する主な仕事に、『第1回アジア漆芸展』(中国・拓副美術館、2015)、『漆うるわしの饗宴展』(巡回展2012)、『漆の現在2018』展(企画も/三越、東京)、『アジア漆の造形と祈り』(東京藝術大学大学美術館、2022)、などの図録執筆。

台湾の人間国宝・王清霜100歳記念展講演(台湾、2021)、第71回日本伝統工芸展の巡回先(香川県立ミュージアム、2025)で講演「伝統工芸とは何か」。

【主催・問合せ】

羽村市教育委員会 生涯学習推進課 プリモホールゆとりぎ内 042-570-0707 (月曜日は休館。ただし祝日は開館。)